

広報紙

JAやまがた

管内（山形市・上山市・山辺町・中山町）の組合員の方々にお届けします

2025
1

January



キウイフルーツ

甘さと酸味のバランスが絶妙な管内産のキウイフルーツ。
中国原産だが、ニュージーランドで改良が進んだ。
「キウイ」という名前は、ニュージーランドの国鳥キウイに似ていることから付けられた。

特集

新春対談 JAやまがたY-Eatsアンバサダー 玉利紗綾香さん、
山形の食とJAやまがたの魅力を語る

インフォメーション

組合員資格の確認について／出荷証明書の配布について

旬の料理

あったまる～！ほうとう入り納豆汁



おいしさ直売所
公式LINE



広報紙 JAやまがた

2025 / 1月号

発行 / 山形農業協同組合

〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35

TEL.023-641-3121

FAX.023-631-4714

https://www.jayamagata.or.jp/



あったまる～！ ほうとう入り納豆汁



材料 5人分

みそ	60g	木綿豆腐	1/4丁
納豆	1パック	長葱	1/4本
だし汁（水+本だし(粉)10g）	1000cc	せり	適宜
大根	1/8本	〔ほうとう〕	
人参	1/4本	・強力粉	10g
芋ガラ	10g	・薄力粉	40g
板こんにやく	1/4枚	・水	23cc

作り方

- ① 芋ガラは水でもどしておき、お湯で2～4分茹でてから、水にさらして細かく刻む。
- ② 大根、人参はイチヨウ切り。板こんにやくは手でちぎり、豆腐をさいの目に切る。だし汁に、大根、人参、芋ガラ、こんにやくを入れて軟らかくなるまで煮てきたら、みそと細かく刻んだ納豆を合わせて溶かし入れる。
- ③ ほうとうは材料を混ぜ、手でよくこねて10分ほど寝かせ、麺棒で薄く伸ばし、約1センチ幅に切り、別鍋にお湯を沸かして約2～3分茹でる。
- ④ ②に豆腐、輪切りにした葱、茹で上がったほうとうを入れ、5分ほど煮込み器に盛ったら、刻んだせりを上に乗せて出来上がり！

FDC Cooking Tips

★最強発酵食品の納豆とみそで免疫力UP！
寒い冬を乗り切りましょう！

★納豆汁とほうとうの組み合わせは相性抜群です。
おためしください！

山形学院高校フードデザインクラブ（通称 FDC）

FDCはアイデアを出し合いながら作ってみたい料理や菓子を調理して食べる、とっても楽しい山形学院高校の部活動です。





山形農業協同組合
代表理事組合長

岡崎 輝明

新年あけましておめでとうございます。組合員並びに地域の皆様方におかれましては、新年を穏やかに迎えのことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。

令和6年を振り返りますと、元日早々に石川・能登半島地震が発生し、甚大な被害となりました。また本県においては、7月下旬から庄内・最上地区を中心とした豪雨により、水田をはじめとする農地の浸水被害等、農林水産被害は31市町村で確認され報道されました。当JAとしましては農業関連のみならず、被害に遭われたすべての方の一助になればと役職員の善意を募り、山新放送愛の事業団を介し義援金を寄託いたしました。被害に遭われた皆様に改めてお見舞い申し上げます。

国際情勢では、急激な円安や有事による原油等の高止まり等が家計の圧迫や消費の減退を招き、未だに終息が見通せず混沌とした状況が続いております。肥料価格は落ち着きつつあるものの、各種資材・燃油等が高止まりしている状況であることから、第27回通常総代会では剰余金処分として、出資配当および「持続可能な農業への支援」の実現のため、昨年事業分量配当を実施いたしました。

営農面では、昨年も気象災害に悩まされた年でありました。暖冬の影響もあり、また、一昨年の夏場の高温の影響からさくらんぼについては双子果が発生、収穫期の高温も重なり、収穫量が減収となりました。そのような中、販売力強化としてトップセールスを含め関係市場等に出向き、市場関係者との意見交換や量販店での消費宣伝を行い、重点市場を中心に一元販売体制および各選果場を活用した有利販売の強化に努めてまいりました。米穀販売では、昨年夏の高温により収量が減少したことから、合わせて、インバウンドの需要が大きかったことから、スーパーおよび直売所においても一時期販売できる主食米が無くなった経過がありました。需要および再生産可能な価格設定により、令和6年産米仮渡金については追加払いも含め価格を大幅に高く設定いたしました。直売事業では、各種イベント等を通じて「LINE友だち」登録を促し、1万人を突破するとともに集客に努めてまいりました。

「地域活性化への貢献」では、昨年各地域で「ふれあい祭り」を開催いたしました。ご協力いただきました各地区組織役員の皆様、農家生産者および関係者各位に改めて感謝申し上げます。更に、「一升餅背負いの集い」については、おししき直売所落合店において2日にわたり開催し、281名のお子様に参加いただきました。若い世代の家族連れで大いに賑わいを見せておりました。

農政活動においては、「食料・農業・農村基本法」見直しに向け、食料安全保障の強化や、生産コストを適正に反映した価格転嫁の重要性や仕組みづくり等、県内および全国の大会において、与党はじめ県選出議員へ要請を行ってまいりました。「農業者の所得増大」「農業生産

の拡大」の実践に向け、継続して取り組んでまいります。

令和7年度は、昨年開催された「第30回JA山形県大会」を踏まえ、第9次中期経営計画を策定し進めてまいります。スローガン「ひたすら前へ育てよう、やまがたの豊かな恵みと地域の未来へ」を掲げ、基本理念実現に向け、①食料・農業への貢献②組合員のくらし・地域社会への貢献③農業・組織・経営を支える人づくりを重点課題として取り組んでまいります。JAを取り巻く環境が急激に変化している中、迷走することなく、財務の健全化なくして組合員サービスは出来ないことを勘案しながら、「早期警戒制度」を見据えた自己改革工程表の進捗を把握し進めてまいりたいと思います。

今年の干支は「乙巳きのとみ」です。乙は、十千の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また巳は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされております。そのため乙巳の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられます。新たな挑戦や変化を前向きにとらえ、役職員一丸となって持続可能な協同の成果を実現できるよう取り組んでまいる所存です。今後とも多大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が災いのない実り豊かな年になりますよう、さらには皆様方のご健勝を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和七年 元旦

今年役員改選の年です

山形農業協同組合

今年（令和7年）は、組合員の皆様が今後、JAの運営に携わる役員(理事・監事)を選ぶ大切な年になり、令和7年5月開催の第28回通常総代会で任期満了に伴う役員改選が行われます。JA役員は、JA運営の重要な役割を担っており、皆様が「どういう人を選ぶか」は、JAが組合員のために役に立ち、農業の発展につながるかどうかの大事な分岐点となります。

役員選任までの流れ

当JAでは、中央、西部、南部、北部の各ブロックを地区推薦会議とする事になっております。通常総代会へ役員選任議案を作成するにあたっては、正組合員の中から役員推薦委員を選出し、4ブロックにて役員推薦会議を開催します。その方々を中心に、組合員の皆様の貴重なご意見を頂戴しながら、選出手続きが取られ、最終的にJA全体の役員推薦会議で推薦を決定し、それを基に理事会で選任議案を決議、令和7年5月開催の通常総代会に提案することとなります。

なお、選出手続きは、自薦・他薦、選挙・推薦など様々な方法があり、各ブロックの役員推薦会議で決定されることになっています。スケジュールは支店窓口への公告や役員推薦委員などを通じて周知されますので、よろしくお願い申し上げます。

役員選任における資格要件等について

平成28年4月に改正農協法が施行され、役員体制などの見直しを行い、前々回の役員改選から適用されております。改正農協法では、農業者の所得向上等に向けた経済活動を積極的に行えるようにするため、**理事の過半は「認定農業者」または「農畜産物の販売その他農業協同組合が行う事業または法人の経営に関し実践的な能力を有する者」と**することが定められております。

当JAでは、現行の選任方法でも認定農業者および実践的能力者が理事の過半数を占めていることから、これまでどおり、地区代表役員については、推薦会議・推薦委員が、役員の資質・能力を備えた適任者を役員候補者として推薦することとしています。ただし、理事については、地区ごとに推薦した結果、認定農業者および実践的能力者がJA全体で過半数に満たなかった場合には、再選出することもあります。

また、男女共同参画が求められているなか、更なる実現に向けて**女性役員の登用**を積極的に進めております。

役員選出にあたって

役員選出にあたっては、法・定款・規約の趣旨にもとづく有資格者であるほか、次のような基準を備えた人物を選出することを理事会・役員推薦会議で申し合わせを行っています。

1. 役員の選出にあたっては、農協法・定款・規約の規定を遵守する。
2. すべての組合員と一緒に協同活動に積極的に努力する人を選出する。
3. 自らJAの事業を利用し、率先実行する行動力のある人を選出する。
4. 組合員の財産を安心して任せられる私利私欲のない道義心の高い人を選出する。
5. 組合員を差別しない公正な人を選出する。
6. 選出にあたり、反社会的行為に関与しない「十分な社会的信用」を有している候補者を選出する。
7. 選出にあたり、金銭・物品等の供与や供応接待等JAの体面を汚すような行為、また、利害関係を利用して選出を誘導するような行為をした候補者は選出しない。

【役員改選にかかる変更の経過等について】

令和6年10月4日開催の臨時総代会において組合員の意見等を反映する面を勘案し、非常勤の副組合長を新たに設定するほか代表理事専務を実務精通理事へと変更する内容として定款の一部変更のご承認をいただいております。

また、その変更に伴い、役員就任時年齢と地区推薦枠理事の人数に関しても協議を行い、令和6年10月28日開催の第9回理事会にて役員候補者推薦取扱要領の一部を変更しております。

【変更内容】

- ・南部ブロックの地区推薦枠理事の人数を4名から3名へと変更いたしました。
- ・専務を実務精通理事とするため、実務精通理事の人数を2名から3名へ変更いたしました。
- ・役員就任時年齢を「70歳を超えてはならない」から「71歳を超えてはならない」へと変更いたしました。

J AやまがたY・E・a・t・sアンバサダー 玉利紗綾香さん、 山形の食とJ Aやまがたの魅力を語る



J Aやまがたのアンバサダーを務める料理家・栄養士の玉利紗綾香さんをお迎えし、
山形の農作物とJ Aやまがたの魅力について岡崎組合長と語っていただきました。
就任当時の思い出や女性部の料理教室の様子など盛り沢山の内容でお届けします。

【玉利紗綾香さんプロフィール】
職業：料理家、栄養士、スポーツ栄養学講師、フードコーディネーター、J Aやまがたアンバサダー
経歴：食品会社シジシージャパン退職後、料理家 浜内千波先生の下で修業。
その後、フリーランスの料理家として独立。
テレビ、CMのフードコーディネーター、料理教室イベント、料理書籍・雑誌、スポーツ専門学校のスポーツ栄養講師を中心に活動中。

山形の人と食材との 出会い

岡崎 日頃より、当J Aの魅力発信にご尽力いただきありがとうございます。
2019年5月にアンバサダーに任命させていただきます、間もなくコロナが流行したことで思うように活動できない期間が続いたと思いますが、ようやくこのような対談ができるようになったことを嬉しく思います。どうぞよろしくお願いします。

玉利 私もこのような機会をいただき光栄です。よろしく願います。

岡崎 就任から5年が経ちましたが、任命式の時ほどのようなお気持ちでしたか。

玉利 初めてJ Aやまがたに訪れた時、トマトと蔵王サファイヤ（ナス）とさくらんぼの園地に連れて行っていただけで、農家の皆さんが温かく迎えてくださった



玉利 蔵王サファイヤ

のが印象に残っています。山形に向かう新幹線では楽しみな反面、受け入れてもらえるか不安でしたが、職員の皆さんも「いらつしやい」と迎えてくれて、不安を一瞬で忘れるような時間になりました。

岡崎 これまで当J Aの農産物を使って様々な料理を作ってこられたと思いますが、玉利さんイチオシの農産物はなんですか。

玉利 私が楽しみにしているのは悪戸芋です。煮物も好きですが、マッシュポテトのように潰して、青のりや和風だしと混ぜて作る和風のポテトサラダは美味しくて何度も作りました。

岡崎 悪戸芋は芋煮に使うイメージでしたが、色々なレシピを考えられるのはさすがプロですね。

その他、アンバサダーになってから知った農産物はありますか。



イヤの畑に行った時、畑にヒヨウ（スベリヒユ）が生えていました。「これ食べられるんだよ」って聞いた時にとても驚きました。昨年の2月に山形に来た時に、直売所にヒヨウを乾燥させたものが売っていたので買って帰り、煮物やみそ汁に入れてみました。山形に来ると毎回いろんな発見があって、まだまだ知らない農産物もあるんだらうなと思いました。

女性部と交流 料理教室

岡崎 今回、女性部の料理教室で講師をしていただきましたが、どういった料理を作られましたか。

玉利 料理教室では、女性部の皆さんから冬野菜活用の悩みを聞いてレ

シピを考えました。「水菜のとげとげしい部分が気にならない食べ方」や「大根、白菜の煮る以外の料理法」を知りたいという声から、4品のレシピをご紹介しました。

今回ご紹介したのは「しみしみ大根と水菜の炊き込みご飯」「水菜ともずくの酸辣湯スープ」「白菜柿サラダ・柿ドレッシング」「白菜と大根の和風グラタン」です。炊き込みご飯は、昨年の秋にスーパーからお米がなくなった時期に、テレビで紹介したかさ増しレシピをアレンジしたものです。米と具材を炊飯器で炊くだけで簡単においしくなります。白菜と大根の和風グラタンは、みそを使って和風に仕上げました。

岡崎 料理教室に参加した女性部の皆さんは、さっそく自宅で作っているかもしれませんね。ご家族も喜ぶと思います。

女性部の皆さんの印象はいかがでしたか。

玉利 女性部の皆さんにはずっとお会いしたかったのですが、コロナの流行もあり、なかなかお会いするチャンスがありませんでした。料理教室のお話をいただいた時、とても

嬉しかったです。会場に着くと皆さん歓迎してくれました。始まる前は緊張していましたが、皆さん明るくパワフルで、一瞬で緊張が飛んで楽しさに変わりました。普段から家事をされているので、料理の手際がすごく良かったです。

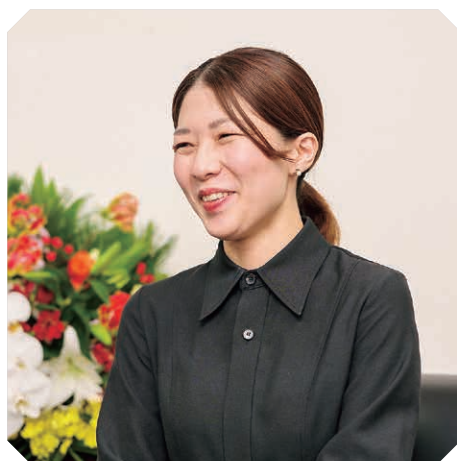
メディアやSNSを活用してPR

岡崎 テレビや雑誌等、多くの方が目にする場でJAをPRしていただいています。普段の活動を詳しく教えていただけますか。

玉利 個人の仕事については、テレビなどに出る機会も増えてきて、出来る仕事が増えてきたなと感じています。

番組から「こういった料理を作ってください」と提案があるのですが、レシピや食材についてはこちらから提示が出来るので、旬の農産物やこれから最盛期を迎えるものをピックアップしてレシピを組むようにしています。

番組上、提示した農産物が使えない場合には、私の名前の横に「JAやまがたアンバサダー・料理家・栄養士」と肩書を入れてもらうようにし



ていて、JAやまがたを検索するきっかけになればと思っています。

岡崎 山形の農産物について、県外の方の反応はいかがですか。

玉利 東京の方は、伝統野菜や郷土料理をすごく喜んでくれます。

仕事イベント業だったので、コロナ禍で仕事がなくなった時に弁当屋を始めたのですが、JAやまがたの旬の食材でお弁当を作ったらとても好評でした。食べてくださった方が山形の農産物のファンになって、「最近の旬の食材はなんですか」と連絡をくださったります。

SNSの発信も5年続けているので、見てくださっている方は旬が分かるようになってきているなと感じます。

食材の魅力をもっと多くの方に知ってもらいたいです。



できる農産物があつた話を聞いて、農家の皆さんへの感謝の気持ちですごく強くなりました。料理を食べたらお腹いっぱいになります。それは農業をされている皆さんのご苦労があつてこそだと感じています。

岡崎 玉利さんのご活躍を今後も楽しみにしています。本日はありがとうございました。

岡崎 SNSではどのような反応が返ってきますか。

玉利 インスタグラムのアカウントが2つあって、1つはJAやまがたのアンバサダーのもので、旬の食材やそれを使ったレシピを紹介していて、そのアカウントのフォロワーは山形の方が多いです。農家の方がフォローしてくださって、「これくらいいかがですかよ」など情報をくれるんです。もう1つは仕事用のアカウントで、こちらのフォロワーは山形の方が少なく、日本各地や台湾など外国の方もフォローしてくださって、ちょっとニーズが異なっています。2つのアカウントで同じ投稿をしても違う反応が返ってくるの



で、同じ投稿をする意味があると感じています。

インバウンドも増えているので、JAやまがたのアカウントでは英語表記も加えて、外国の方向けの投稿もしていけたらと考えています。

岡崎 当JAのPRキャラクター「じゃるるず」の印象はいかがですか。

玉利 じゃるるず大好きです！携帯電話にも以前いただいたキーホルダーを付けています。前回、山形に來た際にぬいぐるみをいただきました。帰りの新幹線で動画を取ってSNSに投稿したんですけど、それを見た方から「このキャラクターかわいい」って反応があつて、JAやまがたのキャラクターなんです。よつてお話しが出来ました。じゃるるず発信からでも農畜産物を知ってもらうきっかけになると思います。

感じたことを発信し魅力を伝える

岡崎 組合員・農家の方へのメッセージをいただけますか。

玉利 料理は食材がないと何もできないので、異常気象や豪雨等で収穫

玉利さんに学ぶ女性部料理教室

冬野菜活用のレシピをご紹介します！

12月5日（木）、山形市の南部公民館で旬の食材を使った料理教室を開きました。女性部役員や各支部の代表ら18人が参加し、冬野菜活用方法の悩みを解決するレシピで「しみしみ大根と水菜の炊き込みご飯」「水菜ともずくの酸辣湯スープ」「白菜柿サラダ・柿ドレッシング」「白菜と大根の和風グラタン」の4品を作りました。

参加者は積極的に質問しながらてきばきと調理を進め、1時間程度で完成させました。

女性部の鈴木静子部長は参加者に「今回学んだレシピやテクニックを支部に持ち帰って広めていきましょう」と呼び掛けていました。



はつらつ！ 青年部

11月19日(火)

JAやまがた青年部 収穫感謝祭

青年部は、山形国際ホテルで今年の収穫を祝う収穫感謝祭を開催しました。部員や関係者約60人が出席しました。

青年部の猪野修平部長はあいさつで「安心・安全な農産物を栽培し、日本の食を支える農業に誇りを持ち、今後の農業の発展に努めていく」と話しました。

5種類の米(はえぬぎ、コシヒカリ、つや姫、雪若丸、ちほみのり)を試食し、品種を当てる試食鑑定会では天神支部の原田裕章さんが全て正解し、記念品が贈られました。



12月7日(土)

フラワーアレンジメント 教室



おいしさ直売所生産者協議会は、本店でフラワーアレンジメント教室を開きました。管内産の花に親しんでもらおうと毎年行っています。

この日は直売所の利用者約40人が参加し、アネモネや葉牡丹、ストック、ユカリなどを使ってアレンジメントに挑戦しました。

寒河江市の生花店、榊花泉の齊藤大介さんが講師を務め、「濃い色の花を内側に使い、花器を回しながら作ると全体のバランスがとりやすい」と指導し、「花に触れる機会を増やしてほしい」と話していました。

12月6日(金)

春高バレー出場校を激励

JAやまがたとJA山形市、JA共済連山形は、第77回全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー)に男子の県代表として出場する山形城北高等学校男子バレーボール部へ「つや姫」60%と山形牛10%を贈って激励しました。

栗原秀行専務とJA山形市の大山敏弘組合長、共済連山形の桜井好晴本部長が同校を訪問し、「米と肉を食べて頑張ってください」とエールをおくり、生徒の代表に目録を手渡しました。

主将の太田絢斗さんは「ベスト8を目指し、悔いの無いように最後まで戦う」と意気込みを述べました。



11月21日(木)・22日(金)

ブロック別座談会を開催



第8次中期経営刷新計画の自己改革の一環として、ブロック別の座談会を開催しました。

21日の中央ブロックに54人、西部ブロックに71人、22日の南部ブロックに17人、北部ブロックに19人の方から参加いただき、正組合員の「声」を協同活動に反映するため、第8次中期経営刷新計画の進捗状況と第9次中期経営計画の中間報告を行いました。

JAやまがた

NEWS TOPICS

管内の主な出来事をご紹介します！

11月15日(金)

ラ・フランス 食味コンテスト



南部営農センター西洋梨部会は、上山南支店で西洋梨「ラ・フランス」の食味コンテストを開きました。審査の結果、佐竹秀一さんが最優秀賞に輝きました。

コンテストは上山の平棚栽培・無袋栽培の特徴を生かし、食味を重視した栽培管理と追熟などの果実の品質管理を高位平準化するため、同部会が昨年から開催しています。

出品規格は3Lまたは4Lサイズの追熟が完了して食べ頃を迎えたものの。計22点が出品され、一次審査の硬度・糖度検査を通過した6点が本審査に進み、審査員5人が試食して甘みと酸味のバランス、舌触りと食感、香りの3項目を審査しました。

最優秀賞に選ばれた佐竹さんは「選んでいただき嬉しく思う。天候に恵まれ、良いラ・フランスが出来た」と喜んでいました。



11月15日(金)

かみのやま温泉駅に 「红柿のれん」

上山市のJRかみのやま温泉駅1番ホームに、色鮮やかな「红柿のれん」が吊るされました。同市特産の「红柿」をPRして販路拡大に繋げようと、市や南部営農センター干し柿部会などが毎年実施しています。



この日は、地元の干し柿生産者ら11人が紅干し柿150連、

2400個を吊るしました。

今年の红柿は実が大きく生産量も平年並みで、10月、11月と暖かな気候が続いたため、吊り下げ作業を例年より1週間ほど遅らせました。

南部営農センター干し柿部会の山田久雄部会長は「上山に来た方に目で楽しんで、食べて喜んでほしい」と話していました。

11月13日(水)～18日(月)

2市2町へ カーブミラー贈呈

JA共済連山形の交通事故防止対策事業の一環として、当JA管内の2市2町にカーブミラーを寄贈しました。

岡崎輝明組合長が各市町を訪れ、目録とカーブミラーのレプリカを手渡しました。

寄贈は1973年から行われており、総寄贈数はそれぞれ上山市が計416基、山辺町が計219基、中山町が計236基、山形市が810基となりました。



13日 上山市へ5基



14日 山辺町へ4基



14日 中山町へ4基



18日 山形市へ15基



購読申し込み
各支店・グリーン
または本店経済課
TEL.023-624-8567



図解 知識ゼロからの食料安全保障入門
農林中金総合研究所 平澤 明彦/
小針 美和/阮 蔚 著

コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻等の国際情勢により、にわかに「食料安全保障」について注目が集まりました。各国政府は国民を飢えさせないためにあらゆる施策を打っています。日本においては「食料・農業・農村基本法」が「食料安全保障」を柱として、異例のタイミングで改正しました。農林中金総合研究所のエース研究員3名を筆頭に、食料安全保障のいまとこれからを、図解を交えて、分かりやすく解説します。

定価 1,800 円 (+ 税)



季節の花で手軽に作る美しく魅せるナチュラルドライフラワー

吉本 博美 著

ドライフラワーとは思えない色や自然な風合いが楽しめる人気だった前作「はじめてのナチュラルドライフラワー」。第2弾となる今回は、四季をテーマに季節感あふれる作り方を紹介。さらに、前作よりも材料を少なめに、より簡単に作れて初心者

でも楽しめるだけでなく、生の材料から作ってドライにする作り方も紹介。四季を通じて暮らしの中でドライフラワーを楽しめます。

定価 1,700 円 (+ 税)

読者の広場

1月号のテーマ 思い出の味

●10年ほど前まで地域の冬の行事に「ゆわいゆわい」がありました。田んぼにワラを積み上げて燃やし、お札や古くなった縁起物をお炊き上げるアレです。その火でスルメやミカンを炙って食べた

り甘酒が振る舞われたり懐かしいです。(山形市Sさん)

●私の実母92才は、毎年私の誕生日は「銀たらの煮つけ」を作ってくれました。さすがに今は作りませんが、甘く優しい味はおいしかったです。きっと母の愛が入っていたのですね(山形市Wさん)

●小さい頃、外で暗くなるまで遊んでた毎日でしたね～!そして、おやつといったら…「みそおにぎり」やはり思い出の味です!(上市市Oさん)

今月もたくさんのお便りをありがとうございました!

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

●**応募方法**／「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

●**郵便** 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35

●**Eメール** kikakukanri@jayamagata.or.jp

●**締切**／1月25日(土)(当日消印有効)

●**プレゼント**／「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下された方の中から抽選で3名の方に「**おいしさ直売所商品券**」1,000円分をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

12月号クロスワードの答え：みかん

2月号のテーマ

おもちの食べ方



〈12月号の訂正とお詫び〉

12月号7ページ【グリーン店舗からのお知らせ】内の年末年始の営業日につきまして、12月27日(金)「通常休業」と記載しておりましたが、「通常営業」の誤りでございました。訂正してお詫び申し上げます。

あとがき

あけましておめでとうございます。

今年も色々な場所で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。管内の情報をたくさん発信していけるように頑張ります!



クロスワード 息抜き

あみがけの□部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。



1	2			3
			4	
5		6		
		7		8
9			10	

↓タテのカギ

- おたがいの意思・意見が一致すること。
- 雨や日光をよけるために使う道具。または、草や竹の葉で組んだ、かぶり物。
- あることを行うために、あらかじめその手順・方法などを考えること。またはその考え。
- 家の宝。
- 山から海へとつながっている水の流れ。春は雪解け水で増水に注意が必要。
- 水が動いて水面に高低ができる現象。

→ヨコのカギ

- 旬は春から夏。白身の高級魚の代表。ヒラメの味が落ちる初夏には非常に高価となる。漢字で「牛尾魚」とも書く。
- 今日の朝。
- 集会や会議などを始めること。
- 早春に萌え出る、食用となる草の総称。
- 写真や絵などで、何も写っていない方の面。表の反対の面。
- まとまり。学級。クラス。

「笑顔がいちばん」女性部活動 フォトコンテスト 結果



山形県JA女性組織協議会が主催する、「笑顔がいちばん」JA女性部活動フォトコンテストで当JA女性部の応募作品が最優秀賞に選ばれました。

理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

第10回理事会(11月28日開催)内容より

●報告事項

- 令和6年度上半期ディスクロージャー誌の縦覧等にかかる対応について
- 利益相反取引に関する報告について
- 令和6年度産米集荷状況について
- 米穀関連施設の再編整備について
- 山形県農業信用基金協会に対する増資について
- 役員候補者選任スケジュールについて
- 米穀関連施設の再編整備について

●協議事項

- 山形県農業信用基金協会に対する増資について
- 役員候補者選任スケジュールについて
- 米穀関連施設の再編整備について

家畜を飼っている方へ

家畜を1頭(羽)でも飼っている方は、毎年2月1日現在の飼育頭羽数などを県に報告する必要があります。前年に報告された方には1月末に報告用紙が送付されますので、必要事項を記入の上、令和7年2月12日(水)までに、山形県中央家畜保健衛生所へ郵送、FAXまたは電子メールで送付してください。新たに飼育を始めた方や飼育しているのに用紙が送付されなかった方は、お手数ですが当所までご連絡ください。

対象となる家畜の種類

牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬(ポニー含む)、豚、(ミニ豚、マイクロ豚含む)、猪、鶏(烏骨鶏、チャボ含む)、うずら、あひる(カモ含む)、ぎじ、だちょう、ぼろぼろ鳥、七面鳥

お問い合わせ

山形県中央家畜保健衛生所
TEL.023-686-4410 FAX.023-686-5715

〒990-2161 山形市大字漆山736

メールアドレス: ymurayamakachiku@pref.yamagata.jp

組合員資格の確認について

組合員資格に変動があった場合は、当JAの定款に基づき資格変更の手続きを行いますので、最寄りの本店・支店へお申し出ください。

お問い合わせ
経営管理部 総務課 TEL.023-624-8250

出荷証明書の配布について

出荷証明書の配布時期については、令和7年1月27日(月)に本店から支店に送付させていただきます。

お問い合わせ 各支店へ

JAやまがた令和6年分確定申告相談会の開催について

東北税理士会より派遣税理士を招いて確定申告(所得税・消費税等)相談会を開催します。

※相談会場につきましては、**本店および上山北支店の2会場となります**。感染症の予防を徹底したなかでの開催となりますので、ご不便をおかけしますが、何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

※派遣税理士の検証を受けない確定申告書等は受理することはありません。

※消費税の申告は簡易課税のみの受付となります。

※受付は、完全予約制となっております。詳しくは各支店までお問い合わせ願います。

お問い合わせ

資産サポート部 TEL.023-624-8258

開催日	対象支店	会 場
2月 6日(木)	高橋支店・天神支店・山形南支店	本店 202・203会議室
2月 7日(金)	千歳支店・山辺支店	
2月12日(水)	東金井支店・ひまわり支店	
2月14日(金)	上山北支店・上山南支店	上山北支店
2月17日(月)	譲渡所得申告対象者	本店 202・203会議室
2月18日(火)	滝山支店・西部支店・さくら支店・南館支店	
2月19日(水)	宮浦支店・鈴川支店・蔵王支店	
2月20日(木)	本店	

■申告者控返却予定日 2月25日・26日・27日

※当相談会は完全予約制となっておりますので、ご予約やその他のお問い合わせに関しましては各支店へお願い致します。